

## 7年

題名(資料名)	「人のフリみて」
ねらい	日々の生活の中で自分を支えてくれている多くの善意や思いやりに気づき、自分の感謝の気持ちを素直を表そうとする態度を育てる。
授業のポイント	<p>「人のフリみて」は、高校生がバスの運転手に感謝の言葉をかけて下車する姿に感心する筆者の視点をとおして「ありがとう」という言葉のもつ力について考えることのできる教材です。</p> <p>中学1年生は思春期を迎え、周りの助や支えに対して感謝の気持ちをもちながらも素直に表現できないことも少なくありません。豊かな人間関係を構築するためには、助けや支えを当たり前と受け流さず、それらを受け止められる心のアンテナを育てていきたいと思えます。</p> <p>そこで、今回の授業を通して「ありがとう」という言葉の力を再発見し、感謝を表現することの大切さに気づいてもらえればと思います。</p>
ご家庭でも、感謝の気持ちを言葉で伝え合う場をもうけてみてください。	

## 8年

題名(資料名)	包む
ねらい	我が国の優れた伝統と文化についての理解を深め、そこに込められた「日本人の心」に気づき、大切にしようとする心情を育てる。
授業のポイント	<p>本教材は、日本の生活の中にある伝統的な「包む」という行為を捉えながら、その奥に秘められている「日本人の心」を述べた文章です。筆者は、「ふろしきの思想」「現代の若者にも見られる『包む』文化の伝統」を例に出して、最後に「包む行為と日本文化における心」ということでまとめています。</p> <p>中学2年生という年齢は、我が国固有の優れた伝統と文化などの価値に気づかず、外国の新しい情報に憧れ、迎合してしまうことも少なくありません。生徒を取り巻く生活習慣や行動様式は著しく多様化してし、我が国の優れた伝統と文化、その根底に流れる日本人の心が失われつつあると思えます。</p> <p>そこで、今回の授業を通して我が国の伝統と文化のよさに興味をもち、「日本人の心」の奥深さに気づかせていきたいです。</p>
ご家庭でも、身の回りにある日本の伝統文化を探してみてください。また日本人の「思いやり」を大切にする国民性についても考えてみてください。	

9年

題名（資料名）	よりよく生きる
ねらい	さまざまな環境の中で人間としてよりよく生きようとすることの大切さを学び、自分の生き方についての考えを深める。
授業のポイント	人間が人間として、自分のよさを発揮し、よりよい人生を生きることは簡単なことではないです。富や名声は人を満たすけれども、心や生き方を満たすことはできません。人間として生きることへの喜びや人間の行為の美しさに気づいたとき、人間は強く、また、気高い存在になり得ます。気高さとは、自分の良心に従い人間性に外れずに生きようとする心です。そして、行為が単なる義務や役割を超え、自分への誇りをもつことで人間は真に気高く生きることができます。時には自分の意志の弱さや人をねたみ、失敗やできないことを自分の課題として直視しようとしめないなど、後悔や疑いのなかで生きることは自己の人生を生きる喜びには程遠いものです。中学校の最終段階において、これまでの自分を思い、教材を重ねて感慨を深めることでこれからの生き方につなげたいです。
ご家庭でも、他のために生きる美しさについて話をしてみてください。	